

少年育成官の仕事について

令和7年3月

1 どんな仕事ですか？

警察の中で少年と専門に関わる仕事です。

県内の警察署及び少年サポートセンター内において、少年の特性に応じた適切な対応に関する技能を活かし、少年の非行や被害に関する相談の受理、非行少年や被害少年等に対する継続的な立ち直り支援、街頭補導、学校での犯罪防止教室をはじめとする県民への広報啓発等少年の非行防止と健全育成に関わる業務に従事します。



学習支援や体験活動、奉仕活動なども行っています。

2 採用試験はどんな感じですか？

公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験、一般心理学（心理学史、発達心理学及び社会心理学を含む。）についての筆記試験、論文、適性検査（一次）、面接（二次）があります。

3 採用後はどうなるの？

警察の一般職員としての必要な教養を警察学校で受け（約1か月程度）、その後、警察本部で少年育成官としての教養や警察署での実習を行い、県内の少年サポートセンターに勤務し、先輩の少年育成官と一緒に相談や支援を行い仕事を学んでいきます。

この他、年1回は少年育成官として必要な知識を学ぶ全体での研修会や各少年サポートセンターでの研修、その他部外研修などを受け、業務に活用していきます。

少年育成官の十マの声をご紹介！

☆ 採用4年目の少年育成官

□ 少年育成官を志望した理由を教えてください。

持っている資格を生かし、自分が成長できる仕事ではないか
と思い、志望しました。

□ 少年育成官のやりがいは何ですか？

面接を重ねていくと、少年が変わっていくのを目の前で見れることです。
少年の成長を直に感じられるのがやりがいでしょうか。

また、先輩が沢山いるのでいろんなアドバイスがもらえるので安心です。

□ お休みはどのように過ごされていますか？

お休みもしっかりとれるので先日は九州に温泉旅行に行ってきました。普段は
ドライブなどでリフレッシュしています。



☆ 採用10年目の少年育成官

□ 少年育成官を志望した理由を教えてください。

母が保育園で働いていて、子供と向き合える仕事をしたい
と思い志望しました。

□ 少年育成官のやりがいは何ですか？育成官になって感じることは？

何もわからず入りましたが、子供たちと関わる中で、子供たちが自分の言葉で
自分の課題を言えるようになったり、自分自身のことをしっかり考えられるよう
になったりしていくのを見るのがうれしいです。やりがいだと思います。

□ お休みはどのように過ごされていますか？

釣りが趣味ですが、最近は、妻と一緒に料理を作ったり、美味しいものを食べ
に行ったりするなど過ごしており幸せです。



☆ 採用15年目の少年育成官

□ 少年育成官を志望した理由を教えてください。

子供に関わる仕事がしたいと思ったからです。非行系の子の
不登校を知り、そういう子たちの力になりたいと思い志望しました。

□ 少年育成官のやりがいを感じるのは？

関わった少年たちが、援助した対人スキルや知識を生かして学校に戻ったり、
友達関係が良好になり地域の社会に帰ったりしていくなど成長していくことで
す。

□ 仕事と家庭の両立はどうですか？

休暇制度やサポートが多いので、小さいお子さんがおられても安心して仕事が
できると思います。私も子供の急な発熱などがあっても少年サポートセンターで
は周囲の理解とサポートがあるので安心して休めるなど良かったです。

また、仕事内容が自分の子育てに活かせるのもメリットです。

